

△第二小學校 第一次
イ 勤勞作業
ロ 校舎内外の大掃除
△尋常高等小學校
イ 聖蹟の巡拜
ロ 山野跋涉ハ見學
△家政女學校 自八月十一日
ロ 平片倉製米場

内郷村報の 六大使命

- 一、政權の進歩を促進して、村力の實主たるを標榜す。
- 二、村内外公私各種の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、實現和進歩の實現を期す。
- 三、本村社会事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事興行を奨励し、且之を獎勵す。
- 五、本村に本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、國運の隆進に努む。

内郷村報

天法人則
ニ從順ナ
ルベシ

縣議選舉も 亦貴議選舉に倣へ

大内民惠

予は八年前の昭和七年九月、即ち前回の貴族院議員選舉に於ける實情を調査し其腐敗墮落せるに、驚きも、呆れもしたる結果、「富裕に廉恥を知らざる多額納税者」なる一文を草して、それを本紙に掲載して、資格者全部に郵送し、大に誨告するところあつたのであつた。而していよいよ來月を以て改選せらるゝ、其選舉に當面して、若しも前回に於けるが如き、醜態を繰返へす様な傾向があるとするば、再び立つて一大警告を與へて、大に其自肅を促さうと、手薬煉ひいて居つた次第であつた。ところが喜ばしくも、縣當局の幹旋、政民兩黨幹部の策動、各立候補者等の謙讓等々、その宜しきを得て、美はしき結果

品を見、定員丈の候補者を舉げて、無競争裡に其選舉を行はるゝに至つたことは、何よりのことであつた。衷心より満足した次第であつた。たゞ少しく遺憾とするところは、有権者諸子が各自の代表者を選挙するに當つて、あまりにも無關心であり、袖手傍觀的であつて、立候補を標榜したる人々や、それに關聯する人々の意向裁量に放任して、我々不關焉であつたことである。之は大に考慮すべきものである。と思はれたのであつた。

り亂れて鏡を削ることゝなるのである。高處より全縣下の選舉形勢を觀望するに、大體其一部の關係者や野心家を除いた、有権者の大部分は、貴議有権者同様、我不關焉であるが、現在の議員諸子、先きに落選した人々、新たに立候補せんとする面々等々は、既に夫々其地盤内に於て、主義も節操もあらばこそ、其有権者個々に對しては勿論或は既存せる各種の團體は申すに及ばず、或は特に自分に都合のよい新しい團體を助成し、それ等に對して寄附響應は云ふ迄もなく、恰も賣笑婦的に、巧妙に因縁をつけ、上手に關係を結び、準備おさ／＼怠るところなく、待機して居るのである。されば從來の例によるとすれば、其修羅の巷の開幕も刻々接近し來り、立候補を目ざす人々それをめぐむる關係者等は、何れも虎視眈々、權謀をめぐらし、術策を弄しつゝ、夜の目も寝ず焦燥の日暮しをして居るのである。

今や各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想たも許されぬ實情であつて、たゞ議會との關係上、僅かにお情け的に、伴食的關係や、幫間的政務官等が、辛うじて台閣に席を與へられに過ぎず、されば組閣當初とか缺員補充の際とかには、自薦他薦物凄運動をして、幸ひに目的を達した者は、お茶挽藝者に、お座敷が／＼つた時のやうな喜び方で、雀躍りして之に馳せ參るといふ光景を呈し、又常に其黨内に於ては、黨中黨をつくり、親和もなく協調もなく、相反目し相闘争して居るといふ有

様である。其流れをくめる地方の各政黨に於ても、そのうした忌はしき、状態を見て、何れも心中大に鬱鬱して、其打開策を講じやうとは考へざるにあらざれども刻下の時局、一般の形勢が又如何ともすること能はず中央議會に於て、舉國一致を餘儀なくせられると同様に、地方議會に於ても、舉縣一致、唯々諾々、總ては當局の指示命令に追從するを餘儀なくせられ、偶々些細なる問題について、一寸見えを切る位に過ぎず、結局は満場一致であらねばならぬことゝなつて居るのである。其處に眞の意見も政見もなく、將た政黨派もなく、

次いで當面の問題は、縣議選舉である。四十幾名かの定員に對して、前例によれば、少くも七十名内外の候補者が出現して、互に入

本誌發行は大内一家の事業にして、其の純潔は子孫に傳ふる遺言を發するもなり

本年度秋季農繁期に於ける同調査は八月十日現在を以て之を調査した。

本誌定價 一冊五錢 一年五圓 郵費別
發行所 福島縣石城郡内郷村大字二丁目
電話 八三〇
印刷所 福島縣石城郡内郷村大字二丁目
電話 八三〇

◆從業員大募集!

人員 貳千名 (經驗が無くても仕事が出来ます)

内 採炭夫 一七〇〇名 坑内機械夫 一〇〇名
支柱夫 一〇〇名 坑内工作夫 五〇〇名
坑内運搬夫 一〇〇名

年齢 十六歳以上五十歳まで (身体壯健のもの)

賃金 賃金會社にて賃額いたします

住居 二一圓以上四圓(請負制)に就業時間八時間乃至拾時間

寄居 世帯持には住宅を無料で貸與します

就業場所 福島縣石城郡内郷村大字二丁目

希望者は最寄職業紹介所か町村役場又は直接會社に御申込下さい!

東北第一の大炭礦!!

磐城炭礦株式會社礦業所

(福島縣石城郡内郷村大字二丁目)

先づ大體以上の通りであつて、それを又來るべき選舉に於て、繰返へされるの

責任者ではないか。自己も身邊も、將た又其選舉區の

以上は予の意見の概要で

全 赤倉才次郎 三
全 木村武明 二
全 遠藤武雄 七
全 渡邊幾一

◎本紙贊助金寄贈芳名
東京 細山金藏
内郷 渡邊幾一

矢野 恒太序 大内民惠著
教育制度改革概論

(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實踐とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威
前京大總長小西重直博士
書を寄せて曰く、多年ノ御體格下實地ノ御試練ニ基キ眞實國ノ大精神ヲ拜味仕リ不忠感激ニ打テ申候云々。

發行所 日本社評論
東京 橋本三丁目
取次所 内郷村報社

銃後奉仕錄

〔其一〕武運長久祈願
七月三十日家政女學校に於て、吉田神官、齋主沼田村長、家族代表、各種團體代表等多數參列、本村出身從軍將兵並に看護婦の武運長久を、いとも莊嚴裡に舉行した。

〔其四〕尋高校同窓會
七月三十日開會、會者三百余名、一般行事、數番の餘興等あつて、盛會裡萬歳を三唱して閉會。會費二十五錢を徵集、經費を節約して其残余金八圓を得。本社經由内五圓を陸軍省、

同係より出征中の南波久君外七名に對し、會長高柳光一氏並に委員一同が、各留守宅を訪問して、其勞を謝し、慰問金を贈呈した。

〔其六〕代愛國貯金組合
大字宮字代の同組合では、事變直後より組合長松本大氏を中心として、渡邊久之氏、鈴木喜作、山崎貞重の

〔其七〕竹筒貯金納納
内郷第三小學校渡邊弘と彫刻しある、錢在中の竹筒を役場に持參して、名乗りもせず置き去つたので、吏員がそれを割つて見たら、一圓六十一錢のお金に左の如き一文が添えられてあつたので、直ちに献納の手續きをとつた。

戰線將兵各位へ

〔其二〕愛國國防婦人會
事變發生以來、我兩婦人會の活躍は眞に目ざましきものであるが、又此度本面に掲載したやうな、第十一回目の將兵慰問状をつくつて、夫々戰線に發送し、更に各區長應援の下に、一同協力して第八回慰問袋の募集に精進、左の如き良結果を得た。

〔其五〕職工協濟會
磐炭建築係の同會では、事變以來恒例の太子講祭の經費を節約し、再度に渉り軍用機献金をなし、今回尙

三氏が夫々部長となつて、報國貯金を實行して來たのであるが、最近例會を開き大内民惠氏の百億貯金達成の講話を聞き、五十余名の組合員一同は大に共鳴し、即時其倍加を決議して、之を執行する事となつた。而して其月額は四十九圓二十五錢である。

〔其八〕内郷村助成會
同會に於ては協議の結果、目下各地病院に療養中の、本村關係二十余名の將兵諸氏に對し、昭和國民讀本に左の慰問状を添えて夫々發送した。

選ばれて、陛下の股肱となり、召されて聖戰の陣頭に立ち、幾多の困苦缺乏に堪えて、赫々たる勳功を建てられ、或は名譽の戦傷をうけ、或は不幸疾病に犯されて御歸還、目下御地に於て御療養中の由、昨今の御經過は如何ですか、御伺ひ申上げます。私共は衷心より其御辛勞を感謝するに共に、一日も早く御快癒再び御奉公の至誠を致されんことを、念願して已まない次第であります。次に床上的の御無聊をお慰め申す一端にも、別封にて昭和國民讀本一冊を贈呈いたしましたから、私共幾千會員の微衷を、御閱讀被下様御願申上げます。先は御見舞勞右様御願申上第一筆申上げます。

婦人會内郷村分會

〔其三〕國防献金
金拾圓 市川善長氏
亡父善次翁の遺志に依り國防費に献金。

〔其四〕尋高校同窓會
七月三十日開會、會者三百余名、一般行事、數番の餘興等あつて、盛會裡萬歳を三唱して閉會。會費二十五錢を徵集、經費を節約して其残余金八圓を得。本社經由内五圓を陸軍省、

〔其五〕職工協濟會
磐炭建築係の同會では、事變以來恒例の太子講祭の經費を節約し、再度に渉り軍用機献金をなし、今回尙

〔其六〕代愛國貯金組合
大字宮字代の同組合では、事變直後より組合長松本大氏を中心として、渡邊久之氏、鈴木喜作、山崎貞重の

〔其七〕竹筒貯金納納
内郷第三小學校渡邊弘と彫刻しある、錢在中の竹筒を役場に持參して、名乗りもせず置き去つたので、吏員がそれを割つて見たら、一圓六十一錢のお金に左の如き一文が添えられてあつたので、直ちに献納の手續きをとつた。

町田坑の閉坑

〔其三〕國防献金
金拾圓 市川善長氏
亡父善次翁の遺志に依り國防費に献金。

〔其四〕尋高校同窓會
七月三十日開會、會者三百余名、一般行事、數番の餘興等あつて、盛會裡萬歳を三唱して閉會。會費二十五錢を徵集、經費を節約して其残余金八圓を得。本社經由内五圓を陸軍省、

〔其五〕職工協濟會
磐炭建築係の同會では、事變以來恒例の太子講祭の經費を節約し、再度に渉り軍用機献金をなし、今回尙

〔其六〕代愛國貯金組合
大字宮字代の同組合では、事變直後より組合長松本大氏を中心として、渡邊久之氏、鈴木喜作、山崎貞重の

〔其七〕竹筒貯金納納
内郷第三小學校渡邊弘と彫刻しある、錢在中の竹筒を役場に持參して、名乗りもせず置き去つたので、吏員がそれを割つて見たら、一圓六十一錢のお金に左の如き一文が添えられてあつたので、直ちに献納の手續きをとつた。

濱崎家の不幸

〔其三〕國防献金
金拾圓 市川善長氏
亡父善次翁の遺志に依り國防費に献金。

〔其四〕尋高校同窓會
七月三十日開會、會者三百余名、一般行事、數番の餘興等あつて、盛會裡萬歳を三唱して閉會。會費二十五錢を徵集、經費を節約して其残余金八圓を得。本社經由内五圓を陸軍省、

〔其五〕職工協濟會
磐炭建築係の同會では、事變以來恒例の太子講祭の經費を節約し、再度に渉り軍用機献金をなし、今回尙

〔其六〕代愛國貯金組合
大字宮字代の同組合では、事變直後より組合長松本大氏を中心として、渡邊久之氏、鈴木喜作、山崎貞重の

〔其七〕竹筒貯金納納
内郷第三小學校渡邊弘と彫刻しある、錢在中の竹筒を役場に持參して、名乗りもせず置き去つたので、吏員がそれを割つて見たら、一圓六十一錢のお金に左の如き一文が添えられてあつたので、直ちに献納の手續きをとつた。

無言の凱旋

〔其三〕國防献金
金拾圓 市川善長氏
亡父善次翁の遺志に依り國防費に献金。

〔其四〕尋高校同窓會
七月三十日開會、會者三百余名、一般行事、數番の餘興等あつて、盛會裡萬歳を三唱して閉會。會費二十五錢を徵集、經費を節約して其残余金八圓を得。本社經由内五圓を陸軍省、

〔其五〕職工協濟會
磐炭建築係の同會では、事變以來恒例の太子講祭の經費を節約し、再度に渉り軍用機献金をなし、今回尙

〔其六〕代愛國貯金組合
大字宮字代の同組合では、事變直後より組合長松本大氏を中心として、渡邊久之氏、鈴木喜作、山崎貞重の

〔其七〕竹筒貯金納納
内郷第三小學校渡邊弘と彫刻しある、錢在中の竹筒を役場に持參して、名乗りもせず置き去つたので、吏員がそれを割つて見たら、一圓六十一錢のお金に左の如き一文が添えられてあつたので、直ちに献納の手續きをとつた。

村内各校 夏季休業 中の施設概要

從來夏休一ヶ月間は専ら休養状態に在りしが、時局に鑑み休業の念を一擲し、鍛錬教育を施し以て實行力を強化し、不撓不屈の氣象を、強健なる體軀を練成するの目的を以て、概要左の如き施設の下に之を實行せり。

一般的に實施期間次の如し

第一次 自八月一日 至八月十五日

第二次 自八月十六日 至八月卅一日

△第一小學校 第一次

1、實施の場所 學校及郊外

2、勤勞作業

イ 學校内外の美化作業

ロ 神社寺院の美化奉仕

ハ 出征家族に對する勤勞奉仕

3、運動

イ 体操及遊戯並に劍道ヲ

ロ 水泳及登山

ハ 兒童の体力測定

ニ 見學旅行

ホ 製糸工場及鐵工場

ヘ 炭坑並に湯本町淨水道

△第二小學校 第一次

イ 勤勞作業

ロ 校舍内外の大掃除

2、運動

イ 遊戯競技球技

ロ 体操

ハ 行軍

3、其他

イ 唱歌遊戯

ロ 童話會

ハ 野外寫生

ニ 音樂會

ホ 武運長久祈願

△第三小學校 第一次

1、實施の場所

イ 學校

ロ 山神社境内

ハ 田代原

ニ 磐炭グラウンド

ホ 其他適當と認むる箇所

2、實施事項

イ 集團勤勞作業

縣會選舉案内

一、投票日時

九月二十五日、自午前七時、至午後六時。

二、投票の場所

内郷村役場内

三、受附と諸注意

白青赤三ヶ所受附けますから定められた入口より入場、入場券と引換に投票用紙を貰ひ、神明に誓つて投票をして下さい

若し不審の点があつたらば、御遠慮なく係員に聞いて下さい。

四、棄權することなく、公明正大に選舉權を行使して下さい。

石炭拾ひ

2 運動

イ 遊戯練習

ロ ラヂオ体操

ハ 水泳

3、見學

イ 農事試驗場石城分場

ロ 平片倉製糸場

△家政女學校 自八月一日 至八月十二日

一日 小川村二ツ屋山登山

二日 音樂鑑賞會感想文作り

三日 手藝品製作科外講話

四日 裁縫(生花)科外講話

五日 裁縫校舎内清酒作業

七日 科外講話、校地清酒作業

八日 手藝品製作科外講話

九日 泉村海岸に遠足

十日 科外講話藥草採集

十一日 好間川水源地見學

十二日 校舎内清掃鍛錬期間

十三日 校舎内清掃鍛錬期間

十四日 校舎内清掃鍛錬期間

十五日 校舎内清掃鍛錬期間

十六日 校舎内清掃鍛錬期間

十七日 校舎内清掃鍛錬期間

十八日 校舎内清掃鍛錬期間

十九日 校舎内清掃鍛錬期間

徵兵検査

本年度徵兵検査は、八月五日平市公會堂に於て、本籍者一八八人、適齡未滿の現役出願者一四九人、同日同所に於て、寄留者九〇人に對して行はれた。其結果は次號に發表する事とした。

簡閱点呼

八月二十三、四の二日間第二小學校に於て執行の豫定、本籍一七〇人、寄留一九八人、計二八八人。

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

本年度體操會概况

秋季勞力調査

本年度秋季農繁期に於ける同調査は八月十日現在を以て之を調査した。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

本年秋の各政黨は、何れも其信望を天下に失墜して、政黨内閣の出現等は、夢想に過ぎない。

内郷村報の 六大使命

一、政權政黨を監視して、村力に對する影響を調査する。

二、村内外各機關の活動状況を報導し、併せて其協力を計り、進取和進努力の實現を期す。

三、本村社會事業の徹底を期す。

四、村内の善事善行を表彰し、且之を奨励する。

五、本村に本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。

六、村民導に當る。